2026年11月10日

各　位

会社名：株式会社ルネサンス
代表者名：代表取締役社長執行役員　望月美佐緒
（コード番号：２３７８　東証プライム市場）
問合せ先：取締役専務執行役員 最高財務責任者　管理本部長　安澤嘉丞
（電話番号　０３-５６００-７８１１）

法人税等調整額（損）の計上及び2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2027年３月期中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）において、法人税等調整額（損）を計上いたしました。また、2026年８月７日に公表した2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。さらに、当該実績や直近の業績動向等を踏まえ、2027年３月期通期連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．法人税等調整額（損）の計上

当社は、当中間連結会計期間において、当初の予定どおり退店店舗の原状回復工事を実施したことに伴い、資産除去債務に係る将来減算一時差異が解消したことから、繰延税金資産を取り崩し、３億20百万円を法人税等調整額（損）として計上いたしました。なお、当該一時差異の解消は、前連結会計年度末における繰延税金資産の回収可能性の判断において既に見込んでいたものであり、当連結会計年度における繰延税金資産の回収可能性の低下によるものではありません。また、本件が業績に与える影響につきましては、本日公表の「2027年３月期第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

２．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異
（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	33,000	700	250	100	4.76
実績値（B）	33,541	840	416	176	8.80
増減額（B-A）	541	140	166	76	
増減率（%）	1.6	20.1	66.5	76.5	
（ご参考）前期実績（2026年３月期中間期）	31,702	59	△348	24	0.77

３．2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	68,000	1,800	900	500	25.38
今回発表予想（B）	68,500	2,400	1,500	500	25.38
増減額（B-A）	500	600	600	-	
増減率（%）	0.7	33.3	66.7	-	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）※	64,933	1,563	792	△2,102	△112.25

※前期実績は、2025年12月に取得した株式会社楓の風の取得原価の配分（PPA）の内容を反映させた金額を用いております。

４．実績値との差異及び修正の理由

当中間連結会計期間におきましては、売上高は、「スポーツクラブ及びその周辺事業」セグメントにおいて、2025年10月に実施した価格改定によりスポーツクラブの会費単価が上昇したこと、自治体向け健康づくり支援や企業・健康保険組合向け健康づくり支援が順調に伸長したこと等により、前回発表予想を上回って推移しました。利益面につきましては、店舗運営の効率化や本部コストの抑制等、全社的なコストコントロールの取組により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益のいずれも前回発表予想を上回る結果となりました。

当中間連結会計期間の業績動向及び今後の見通し等を踏まえ、通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。６月以降スポーツクラブの新規入会が弱含みな進捗ではあるものの、2026年10月に実施する価格改定による会費収入の増加やさらなるコスト改善を見込んでおります。なお、不採算施設の整理を含めた将来の投資配分の見直しに伴い、一部施設における退店等の損失発生の可能性を鑑み、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を据えて置いております。

以上